

みずほCustomer Desk Report 2016/11/02号(As of 2016/11/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.84	1.0971	115.01	0.9894	1.2236	0.7606
SYD-NY High	105.12	1.1069	115.68	0.9899	1.2281	0.7689
SYD-NY Low	103.80	1.0960	114.82	0.9729	1.2206	0.7598
NY 5:00 PM	104.15	1.1055	115.16	0.9756	1.2245	0.7651
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.025/11.525		△25RR		1.675	Yen Call Over

	債券市場	為替市況	商品市況
NY DOW	18,037.10 ▲105.32	日本2年債	-0.2430 ▲0.4bp
NASDAQ	5,153.58 ▲35.56	日本10年債	-0.0460 0.2bp
S&P	2,111.72 ▲14.43	米国2年債	0.8311 ▲1.0bp
日経平均	17,442.40 17.38	米国5年債	1.2921 ▲1.5bp
TOPIX	1,393.19 0.17	米国10年債	1.8274 0.2bp
シカゴ日経先物	17,270 ▲150.00	独10年債	0.1790 1.6bp
ロンドンFT	6,917.14 ▲37.08	英10年債	1.2810 3.6bp
DAX	10,526.16 ▲138.85	豪10年債	2.3820 3.7bp
ハンセン指数	23,147.07 212.53	USD/CNH	6.7733 ▲0.0044
上海総合	3,122.44 21.94	ドルインデックス	97.70 ▲0.75
USDJPY 3M Vol	11.26 0.48%	CRB指数	185.811 ▲0.47
USDJPY 6M Vol	11.05 0.23%	NY金	1,288,000 14.90
EURJPY 3M Vol	11.06 0.21%	WTI	46.670 ▲0.19
EURJPY 6M Vol	11.34 0.09%	Dubai Spot	45.26 ▲0.57

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月1日	10:00	中 製造業/非製造業PMI	10月 51.2/54.0	50.3/-
	10:45	中 Caixin製造業PMI	10月 51.2	50.1
	12:30	中 FEA政策金利発表	- 1.50%	1.50%
	-	日 日銀金融政策決定会合	-	-
	-	日 経済・物価情勢の展望レポート公表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁会見	-	-
	18:30	米 マークイット製造業PMI	10月 54.3	54.5
	21:30	米 GDP(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.3%	0.2%/1.3%
	22:45	米 マークイット製造業PMI-確報値	10月 53.4	53.2
	23:00	米 ISM製造業景況指数	10月 51.9	51.7
	23:00	米 建設支出(前月比)	9月 -0.4%	0.5%

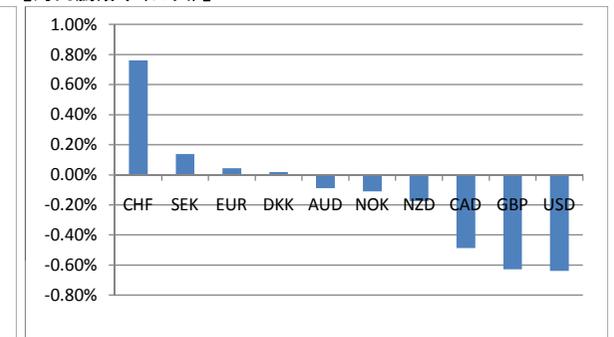
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日
11月2日	17:55	独 マークイット製造業PMI-確報値	10月 55.1	55.1
	18:00	欧 マークイット製造業PMI-確報値	10月 53.3	53.3
	18:30	英 マークイット建設業PMI	10月 51.8	52.3
11月3日	21:15	米 ADP雇用統計	10月 165K	154K
	3:00	米 FOMC政策金利公表(11/1-2)	- 0.25-0.50%	0.25-0.50%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.60-104.60	1.0950-1.1100	114.50-116.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は軟調推移。先週末に報じられたFRBによるクリントン民主党候補に関わるメール問題の捜査再開に加え、最新の世論調査によるトランプ氏の追い上げ報道を受けて、米大統領選挙を巡る政治情勢の先行き不透明感からリスクオフムードが高まり、株安、債券高でドル/円も下落。103円台後半まで値を下げた。本日のドル/円はFOMCや週末の米10月雇用統計を控え、動意に乏しい展開を予想する。昨日の下落の反動から一時的にドル/円が買われる局面もあろうが、投機筋も積極的にポジションを取り難いと思料され上値は限定的であろう。

東京	東京時間のドル円は104.84レベルでオープン。特段目新しい材料のない中、日経平均株価が前日比ほぼ横ばいで寄り付いたこともあり、ドル円は方向感なく推移。その後、中国10月製造業PMI(実績:51.2、予想:50.3、前回:50.4)が発表され、市場予想を上回る数字となるも反応は限定的となった。正午にかけて日銀政策決定会合の結果が発表され、現状維持が伝わると瞬間的に104.66を付けたものの、事前の注目度が低かったこともあり、値動きは限られたものとなった。同時に発表された展望レポートでは、今後のインフレ見通しが下方修正され、合わせて物価目標達成時期も「2018年度ごろ」に先送りされたが、すでにある程度織り込み済みの内容であり、こちらも大きな反応は見られなかった。その後、一時104.95近辺まで上昇する場面が見られたものの、翌日にFOMCを控えていることなどから動きづらいつつ展開が続き、結局104.77レベルで海外市場に渡った。豪ドルは0.7606レベルで東京時間オープン。その後、一時0.7598まで値を下げる場面が見られたものの、RBA理事会前ということで限られた値動きとなり、すぐに0.76台を回復。RBA理事会では政策金利据え置き(1.50%)が決定され、同時に発表された声明文では今後の豪インフレ見通しについて楽観的な見方が示されたことから、豪ドルは0.7650近辺まで上昇した。その後も高値圏での推移が続き、0.7659レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は序盤に105円台前半まで上昇した後、反落する展開となった。朝方は104.77レベルでオープン。序盤からポンドの巻き戻しと思われる動きでポンド円を含むポンドクロスが全般的に上昇する中でドル円はつれ高となり、高値105.12まで上昇。その後、欧州株が下落するとドル円も軟調となり、ドル円は104.84レベルでNYへ渡った。ロンドン時間のポンドドルは1.22台後半まで上昇した後、1.22台前半まで反落する展開。朝方は1.2222レベルでオープン。序盤から英経済指標に向けたジョイントスイスの展開となり高値1.2281まで上昇した後、再度1.22台半ばまで反落。英10月製造業PMIは市場コンセンサス54.5に対し結果54.3とわずかに弱い結果となった一方、前月の数値が55.4→55.5へ上方修正された。指標発表後のポンドドルの動きは限定的となったものの、その後は上値が重たくなり1.2235レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.84レベルでオープン。朝方発表された米10月マークイット製造業PMI、10月ISM製造業景況指数は予想を上回ったものの、ドル買いの反応は限定的。発表された最新の世論調査で、優勢と見られていたクリントン民主党候補の支持率がトランプ共和党候補に追い上げられたことでリスク回避の動きが強まり、米株式が下落する中、ドル円も下値を試す展開。その後、ダウ平均が18,000ドル台を割り込んだことや米10年債利回りが大幅低下する流れに、ドル円はストップを巻き込みつつ一時103.80まで下落。翌日にFOMCを控えていることもあり、この水準では下げ渋る動きを見せ、104.15レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.1028レベルでNYオープン。不透明感が増す米大統領選挙を背景にドル売りが強まり、ユーロドルはじり高推移し一時1.1069まで上昇。結局1.1055レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。